



官民協働による地域資源の活用

～地域おこし協力隊が中心となって取り組む

薬草を活用した地域づくり～

定員
20名

日程：令和3年7月17日(土)～18日(日)

会場：飛騨市役所西庁舎3階大会議室

対象：地域づくりに興味のある方

(地域おこし協力隊員、公務員、学生等)



スケジュール ※内容が変更となる場合があります

- 7月17日(土)
13:30~18:00(13:00受付開始)
- 開講式
 - 特別講師講義
「地域おこし協力隊と連携し見出した地域資源の可能性」
都竹 淳也 氏(飛騨市長)
 - 主任講師講義
「地域資源を活用した魅力的なまちづくり」
岡本 文 氏(飛騨市地域おこし協力隊)
 - フィールドワーク
(薬草のワークショップ体験とひだ森のめぐみ見学)
 - 特別講師講義
「地域資源としての「薬草」の活かし方」
北平 嗣二 氏(NPO法人飛騨で薬草を元気にする会 理事長)
 - 交流会(会費制) 18:15~
- 7月18日(日)
9:00~13:30
- フィールドワーク(身近な場所に潜んでいる薬草見学)
 - 特別講師講義
「現代に息づく薬草と地域連携について」
白川 靖之 氏(アルプス薬品工業 株式会社 販売管理課 課長)
 - グループワーク
 - 昼食(会費制)
 - 発表・講評
 - 閉講式



申し込み方法

次のいずれかの方法でお申し込みください。

- ホームページ申込フォームから
(右のQRコードを読み取り)
必要事項を入力のうえ、
お申し込みください。
 - e-mail(chiiki@jcrd.jp宛て)
件名を「実践塾飛騨市申込」とし、本文に次の各事項をご記入のうえ、送信してください。
- ①氏名 ②氏名(フリガナ) ③セミナー当日の年齢 ④郵便番号・住所 ⑤勤務先(団体名・役職)
⑥勤務先電話番号 ⑦携帯電話番号(当日連絡が取れる番号) ⑧メールアドレス ⑨交流会の出欠(会費制・5,000円程度) ⑩18日の昼食の要・不要(1,000円程度) ⑪請求書の要・不要(必要であれば宛名を記入)



地方創生実践塾in岐阜県飛騨市



講師プロフィール



岡本 文 氏
・主任講師
・飛騨市地域おこし協力隊

2018年10月から地域おこし協力隊として活動。飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクトの中心人物として活躍し、2020年にはその取り組みが評価され、岐阜県が推進する「ぎふ女のすぐれもの」に認定されました。



都竹 淳也 氏
・特別講師
・飛騨市長

2016年3月に飛騨市長に就任し、現在2期目。「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」の実現に向けた取り組みを推進中。プライベートで薬草摘みに出られるなど、薬草事業に積極的に取り組まれています。



北平 嗣二 氏
・特別講師
・薬草でひだを元気にする会

NPO法人薬草でひだを元気にする会の理事長で、薬草の専門家である故村上光太郎先生の指導のもと、薬草の普及から関連商品の開発まで幅広く活躍。老舗旅館「蕪水亭」の亭主でもあり、飛騨市における薬草料理の第一人者。



白川 靖之 氏
・特別講師
・アルプス薬品工業(株)

アルプス薬品工業(株)勤務。薬草愛が強く、薬草の普及などに力を入れており、個人やNPOの立場としても薬草プロジェクトに大きく貢献しています。



お申し込みにあたって

■受講申込にあたり賛助会員になっていただきます(実践塾の受講は、地域活性化センターの個人賛助会員に対するサービスの一環であり、実践塾の受講のほか、機関紙配布やメルマガ配信等のサービスがあります)。

■ 賛助会費は**地方創生実践塾地方版L会員10,000円、地方LS会員(学生)5,000円**です。

詳しくはこちらから ↓
<https://www.jcrd.jp/member/about/>

■開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代等は別途ご負担ください。

■お知らせいただいた個人情報、当センターからの事務連絡および各事業のご案内等に利用させていただく場合があります。

■開催日の3日前以降にキャンセルされた場合、賛助会費は返金できません。

※新型コロナウイルス感染症の状況により開催日や内容が変更になる場合があります。

※体調がすぐれない方のご参加をお断りする場合があります。

「飛騨市薬草ビレッジ構想推進プロジェクト」とは?

森林が面積の9割以上を占める自然豊かな飛騨市には、245種類以上も野草(薬草)が自生しています。野菜に比べ非常に多くのミネラルが含まれる野草は、ミネラルが不足する現代人の健康維持に有効なのではないでしょうか。

「飛騨市薬草ビレッジ構想プロジェクト」は、市やNPO法人、薬草愛好団体、地元企業などと協働し、市民の健康づくりを目的に薬草の普及に取り組んできました。

平成25年度から地域内での薬草知識の普及や活用方法の啓発を進め、平成26年と令和元年に、全国の薬草に取り組んでいる自治体や団体が集まる「全国薬草シンポジウム」を飛騨市で開催しました。

